

凡例

自/Da aditza	nor
他/Du aditza	nor-nori-nork
du/zaio aditza	nor-nori-nork, nori-nork
zaio aditza	nori-nork
名/Izena	名詞
形/Adjektiboa	形容詞
副/Adberbioa	副詞
助/aditz laguntzaile	助動詞
複/Plurala	複数で用いられる名詞
代/Izenordaina	代名詞
数/Zenbakia	数詞
後/Atzizkia	後続詞
接続/Juntagailua	接続詞
間/Interjekzioa	間投詞
小/Partikula	小辞

配列

原則としてアルファベット順で、“n”は、“n”と“o”の間にあります。

見出し語には、頻繁に使用される成句があります。

動詞の見出しは、完了分詞の形で語幹部は()に入っています。

例) altxa(tu)

表記

単語の意味表記には、漢字、ひらがな、ローマ字の3種があります。

漢字

漢字表記は、漢字で書いた方が分かりやすい、漢字で書かれる場合が多いものについては漢字を使用していますが、なるべく用字用語集に沿った記述にしてあります。

ひらがな

ひらがなは、特に分かりにくい場合を除いて、文節を区切っていません。

日本語のひらがなは、現代仮名遣いに一致させています。

例) 学校 がっこう gakkou

例) 経験 けいけん keiken

ローマ字

し shi

ず・づ zu

ち chi

じ・ぢ ji

じゃ・ぢゃ ja

じゅ・ぢゅ ju

じょ・ぢょ jo

助詞の表記

“へ”は、“e” 例)東京へ Toukyou e

“を”は、“o” 例)お金を okane o

“には”は、“ni wa” 例)ここには koko ni wa

外来語長音の表記

“^” 例)コート ko^to

ローマ字表記は、現代仮名遣いに一致させています。

例)標準 ひょうじゅん hyoujun

例)性格 せいかく seikaku

ローマ字は基本的に、読んで分かりやすいようにしました。長い文では、助詞や活用語尾が独立しています。

特殊な表記

1. “ん”の後に母音がくる単語には、“’”(アポストロフィ)を入れて誤発音を防ぐようにしました。

例)審判員 shinpan'in

2. 数字は原則として、複合語には漢字を使用しました。

例)四月

NOTE 欄

基本的に熟語、例文、類語などがあります。

説明が必要と思われる単語については、NOTE 欄で説明しています。

一般分野の単語については分類項目示し、特殊な分野の単語は NOTE 欄に記入しました。

＝または(同)は類語を示しています。

例)= pake (bake の類語)

+はその単語の接続方法

例)動詞の完了分詞+ohi た例えば joan の動詞の完了分詞につけて joan hoi と使用

画像

必要なものは順次掲載予定

音声

正確な発音を、今後挿入予定

参考辞書

バスク語

Elhuyar

Estola-Hiztegia

3000 Hiztegia

バスク語常用 6000 語